

○「新制度になって1年をふりかえる」

(京都府綾部市西部地区連絡会)(第1回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年7月31日 15:30~17:15(19:30)
- 場 所: 綾部市 ふしみや
- 出席者: 農業委員6人、推進員7名、他4人
- 報告者: 荒田 好彦 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 綾部市西部に位置する中山間地域、豊里、志賀郷、物部地区からなる。
- 水田を基盤とする地域

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 新制度になり、この一年の農業委員、最適化推進員の活動について、各人が総括した。
- 地域それぞれの課題があり、主な内容、は以下のとおり
- 遊休農地が全くない地域もあれば、増加する地域もある。しかし、ほとんどの地域が今後の5年先が見えない。
- 最適化推進員のあり様がわからないが、地域の活性化を主体に活動をしている。
- 綾部市農業委員の特色ある活動がしたい。
- 本地域で予定されている機構関連事業の期待と周辺地域での要望が寄せられた。
- 法人の高年齢化による活動の停滞化など、今後の連絡会の活動指針となった。

4 活動結果

- 情報・意見交換 **4** 時間
- 担い手への集積 **a** 増加
- 遊休農地面積 **a** 解消
- 新規就農者 **人** 支援